

料金後納郵便

OFFICE HARMO INC.

ゆうメール

お仕事、家庭、いろんな場所で、「きっと役に立つ情報?!」をお届けします!  
**喜田菜穂子の季刊誌 ハーモマガジン 24 新春号 「人を育てる②」**  
 改めて「主体的に生きる自立力」を考えてみました!



2015年、デフレスパイラルから少しでも脱却し、景気が回復し、老若男女、多様性のあるすべての人々が、未来に向かって希望が持てますように!! そんなことも少し考えながら、家族の健康を祈って初詣。皆さんはどのような新年をお迎えでしょうか? 私の住む神戸は、本当に惨かった阪神淡路大震災から20年となりました。町は復興し、美しい神戸の街に戻ったのですが、いまだに、災害があるたび、思い出してはつらくなるお友達がたくさんおられます。(私は20年前のその日、京都在住でした)

さて、今回は、改めて、私のお仕事の柱である「自立」についてお伝えしてみようと思います。

### ■15年前に喜田が定義した「自立」はこちら

※自立について(喜田菜穂子)

#### ●「自立」とは

自らの人生や仕事において、「自分が選択している」という意識があり、その選択に責任を持っていること。

#### ●「自立した人」とは

一人ひとりが自分で考え、壁を乗り越える力を身につけていること。何か問題が生じたとき、他人への責任転嫁(他責)ではなく、つねに当事者意識を持ってあたれること。

#### ●「成熟(自立)した組織」とは

組織自体に問題解決する能力があり、協働の雰囲気や、必要ときに改善に向けて話し合う力があること。一人ひとりの力が十分に発揮されていること。

### ■自立の意識はどこでもオールマイティ

私はご存知の方も多いうように、研修や講演会が主な仕事となっています。部下を育てる上司の役割の皆さんへの指導や、キャリアを積むにはまだまだ大変な女性への指導、あるいは組織風土自体を変えるために共通言語と共通思考を根付かせるための研修などをしております。実施の前に皆さんの現場の生々しいお悩みを頂戴し、それをじっくり扱うわけですが、そんなお悩みをいくつか挙げてみましょう。

- ・部下に問題意識がなくて困る。
- ・年上の部下は指導しにくい
- ・本当に能力がないようにしか思えない部下がおり、どのようにしたら良いか途方に暮れる。
- ・周りが理解してくれないので辛い。
- ・主体的に動いてくれたらよいのに指示待ちで困る
- ・連携を取ってもらえない。

さて、どうしていったらよいのでしょうか。どのように関わるかのテクニックは当然お教えしていくわけですが、その前段階で、必要なのがやはり「自立した人」の意識です。人のせい、会社のせい、自分以外のことに意識が言っているうちはどうしても未来への道筋は見えにくいと思うのです。やはり重要なのは、「で、自分に何ができるのか…。」こんな思考の癖でしょう。

### ■厳しいようで、未来が見られるので、心が楽になる

なかなか育て甲斐(!?)のある部下や、理解できなくて会社に行くのも足が重くなるような理不尽な上司も、「いなければ楽なのに…。」と思ったところで、もれなく側に存在しておられます。そんなとき、喜田が研修で迫力を持ってお伝えするのが「望む未来を、まず描き、現実を踏まえたうえで、自分がどうなれば、相手が変わってくれるのか…。考えていくしかないのですよ!!」「誰も替わってくれないわけだし、相手が宝くじにでも当たるかのような都合の良い変化でもない限り、『自分の目指す未来』とそのための『自分にできること』に集中し行動していくしかないのです。

大きさではなく、道が見えたら人は生きていけます!!!

真実だと思いませんか??

### ■育てるためには、粘りと継続

そんな自立した意識を育てるためには、本当に根気が必要です。自分自身だって、時には人のせいにして悩むし、憤慨が続くことだってあるのですから。しかし、だからと言って諦めていては部下も(子どもも?)育ちませんし、皆さんがいる、その組織も変わりません。私の研修では、途中から「難しいですね〜」と声が飛び交います。

そこで私は…

**「で、どうしますか?」**

**にっこり笑って向き合うのです。**

**次回からは、実際に自立を育てる「自立型支援方法」を改めてお送りします。**



★自立した人・組織を育てていくためにいろいろな関わりを身につけていきましょう。

オフィスハーモでは、人材育成のための「効果的な研修を提供しております。参加者の方々のお悩みをすべて取り上げながら現場で役に立ち、結果が出るような仕組みもございますので、お気軽にご連絡ください。

お読みいただきありがとうございました、効果的な叱り方についてのDVDを販売しています。少しでも多くの方に知っていただくために、お求めやすい価格ですので、どうぞ、皆さまのお仕事、子育てなどにお役立て下さい。(叱り方検定も是非一度体験してください！内容は即現場で行かせる体験型です)

また、忘れた頃にお届けするような形になるかもしれませんが、またこうして片思いでもご縁が繋がることをうれしく思います。バックナンバーをご希望の方や、万が一ご不要の場合も、下のメッセージシートにご記入いただきFAXいただくか、メール(naho@k.email.ne.jp)をいただけますよう、お願いいたします。お読みいただき、ご意見感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思っております。いつでもお待ちしております。

感想	
----	--

お名前	もしよろしければ連絡先を！(mail・FAX・ご住所など)
-----	-------------------------------

ありがとうございました。  
～当事者意識と考える力を育てる方法～  
研修、講演会のご相談お受けします。

(有)OFFICE HARMO 代表  
NPO法人マザーズサポーター協会理事長  
喜田菜穂子  
naho@k.email.ne.jp 080-4393-4255



- ✓ 叱るために、上司の意識で大切な3つのポイント
  - ✓ 事例を基にした「悪い叱り方」「良い叱り方」のシミュレーション
  - ✓ 叱り方の9つの留意点
- などをセミナー形式で、わかりやすく解説しています。「叱る」と「怒る」は違います。本来の叱る目的を認識し、部下を育てていくためにぜひ活用してください。